

# 平成29年度病床機能報告結果

岐阜県健康福祉部

# 1 病床機能の推移

- 県全体として、高度急性期の増、急性期の減、回復期の増、慢性期の増の傾向
- 岐阜圏域：高度急性期、慢性期が増加傾向
- 西濃圏域・中濃圏域：高度急性期が増加傾向、回復期が増加傾向にあったものの、H29から減に転じている
- 東濃圏域：慢性期の減が他圏域と比べて大きい
- 飛騨圏域：慢性期は横ばい、回復期の増加率が他圏域と比べて大きい
- 地域の実情を踏まえた上で、さらなる回復期の充実が必要

	機能				必要病床数
		H27.7.1	H28.7.1	H29.7.1	H37
県全体	高度急性期	2,120	2,234	2,442	1,692
	急性期	9,989	9,446	8,808	5,792
	回復期	1,927	2,224	2,427	4,765
	慢性期	3,495	3,506	3,594	2,729
	その他	483	581	649	
	合計	18,014	17,991	17,920	14,978
岐阜	高度急性期	1,325	1,353	1,411	869
	急性期	3,996	3,843	3,579	2,757
	回復期	809	930	1,082	2,201
	慢性期	1,760	1,825	1,937	1,247
	その他	115	110	144	
	小計	8,005	8,061	8,153	7,074
西濃	高度急性期	304	304	428	253
	急性期	1,664	1,577	1,326	917
	回復期	337	400	385	744
	慢性期	667	625	613	516
	その他	64	47	97	
	小計	3,036	2,953	2,849	2,430

	機能				必要病床数
		H27.7.1	H28.7.1	H29.7.1	H37
中濃	高度急性期	202	279	307	226
	急性期	1,791	1,597	1,553	902
	回復期	248	292	263	841
	慢性期	512	500	529	442
	その他	54	143	155	
	小計	2,807	2,811	2,807	2,411
東濃	高度急性期	273	282	280	236
	急性期	1,548	1,539	1,501	836
	回復期	351	320	386	653
	慢性期	326	326	285	332
	その他	240	271	219	
	小計	2,738	2,738	2,671	2,057
飛騨	高度急性期	16	16	16	108
	急性期	990	890	849	380
	回復期	182	282	311	326
	慢性期	230	230	230	192
	その他	10	10	34	
	小計	1,428	1,428	1,440	1,006

## 2 平均在院日数の推移

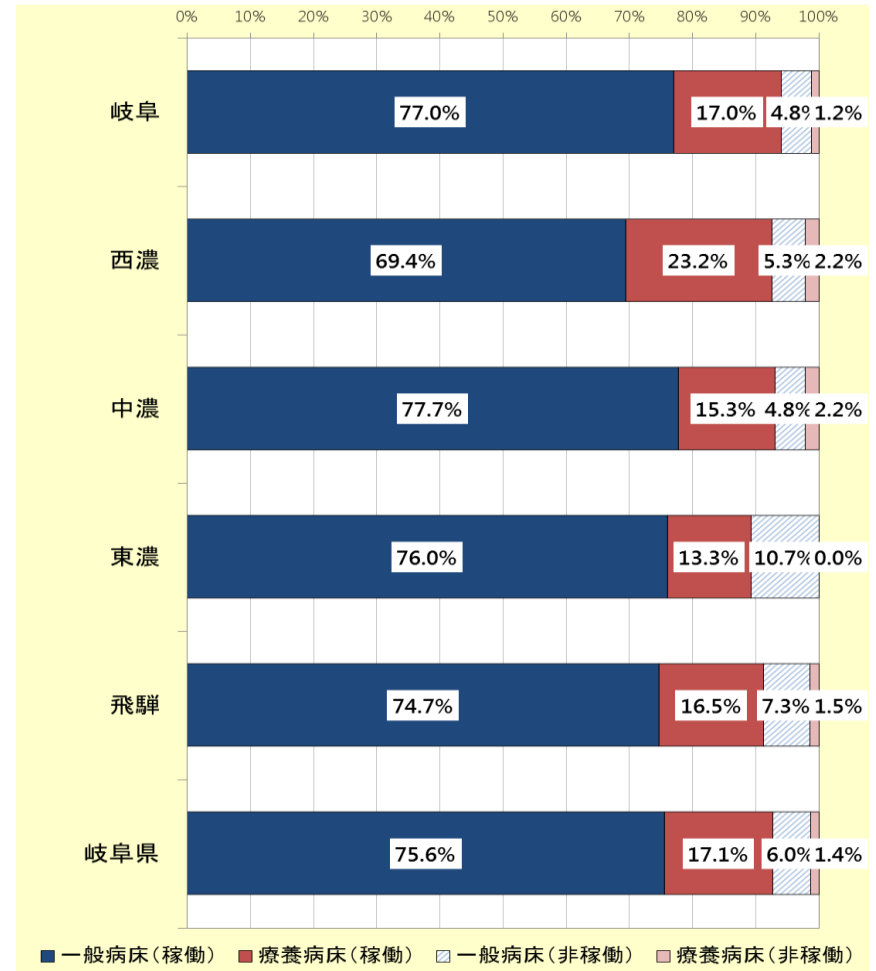
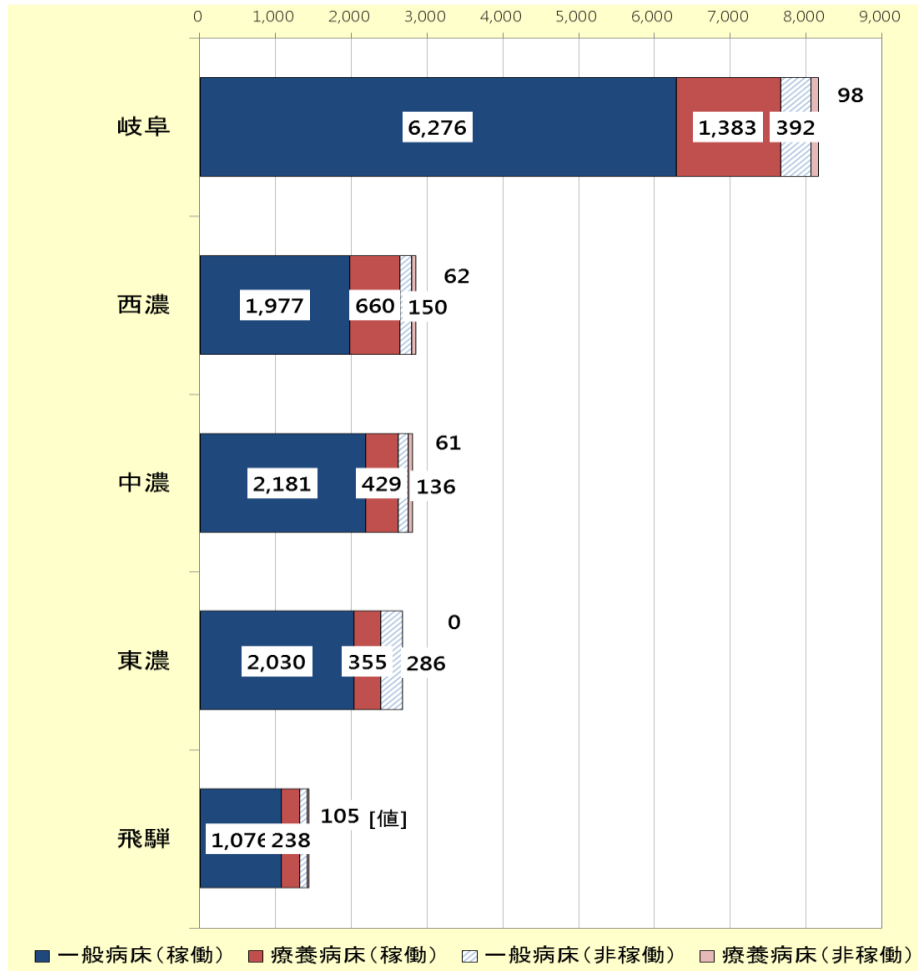
- 県全体として、H27年度と比較して、すべての機能が減少傾向
- 岐阜圏域：回復期のみ増加傾向
- 西濃圏域：慢性期のみH28年度と比較してH29年度で増加傾向
- 中濃圏域：高度急性期及び慢性期は平成27年度と比較してH28年度で増加したが、H29年度で減少。
- 東濃圏域：急性期及び回復期はH27年度と比較してH28年度で増加したが、H29年度減少。  
慢性期はH27年度と比較してH28年度で減少したが、H29年度で増加。
- 飛騨圏域：高度急性期、回復期及び慢性期はH27年度と比較してH28年度で減少し、H29年度増加。  
急性期はH27年度と比較してH28年度で増加したが、H29年度で減少
- 県全体では、急性期の平均在院日数減から、急性期病棟の需要が減退するのではないか

	機能	病床機能報告		
		H27年度	H28年度	H29年度
県全体	高度急性期	9.7	9.3	9.0
	急性期	12.2	12.1	11.5
	回復期	28.5	27.1	27.2
	慢性期	125.2	113.7	110.9
岐阜	高度急性期	10.1	9.8	9.5
	急性期	11.8	11.4	11.0
	回復期	22.0	22.4	23.4
	慢性期	160.2	147.1	129.9
西濃	高度急性期	9.5	9.0	7.6
	急性期	13.4	12.7	10.8
	回復期	39.1	31.7	32.2
	慢性期	155.1	101.4	102.9

	機能	病床機能報告		
		H27年度	H28年度	H29年度
中濃	高度急性期	6.8	8.9	8.7
	急性期	13.9	13.5	13.3
	回復期	41.9	32.4	27.7
	慢性期	105.7	118.6	117.4
東濃	高度急性期	10.4	9.4	9.1
	急性期	11.7	11.9	12.0
	回復期	32.1	36.3	33.9
	慢性期	51.0	46.7	46.9
飛騨	高度急性期	5.5	3.4	3.7
	急性期	9.7	11.2	10.3
	回復期	42.6	30.8	31.1
	慢性期	178.2	126.1	177.2

# 3-① 非稼働病床の現状

- 非稼働病床（病床単位）は、一般病床1,069床（一般病床全体の7.4%）、療養病床242床（療養病床全体の7.9%）
- 病床全体に対する非稼働病床の割合は、東濃圏域が比較的高い



※報告欄が空欄は非稼働として計上

## 3-② 非稼働病床の現状

- 非稼働病棟（過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床のみで構成される病棟）の病床数は、一般病床563床、療養病床80床
- 非稼働病棟を有する医療機関については、次回の調整会議において理由等を確認するとともに、再稼働する場合においても、その必要性を確認する

圏域名	病院						有床診療所			
	一般病床			療養病床			一般病床		療養病床	
	許可病床	非稼働病床		許可病床	非稼働病床		許可病床	非稼働病床	許可病床	非稼働病床
うち、公立・公的等		うち、公立・公的等	うち、公立・公的等		うち、公立・公的等					
岐阜	6,084	94	94	1,341	0	0	588	54	140	9
西濃	1,867	0	0	693	0	0	260	70	29	3
中濃	2,116	64	35	486	60	0	201	40	4	0
東濃	2,164	220	220	318	0	0	152	19	37	0
飛騨	1,125	0	0	237	0	0	56	2	22	8
合計	13,356	378	349	3,075	60	0	1,257	185	232	20

# 4-① 病院の機能別概況（平均在院日数・病床利用率・入棟患者）

- 高度急性期の病床利用率が80%超、回復期15対1の病床利用率が90%超、それ以外の機能については70%台が大半を占める。急性期の15対1の病床利用率は50%台で低い。
- 入院基本料別でみると、急性期の7対1の許可病床数の割合が高い
- 回復期については、地域包括ケア、回復期リハが大半を占める

	許可病床数	平均 在棟日数	病床利用率	新規入棟患者の実数 (H28.7～H29.6)			構成(%)			
				院内転棟	救急	その他	院内転棟	救急	その他	
高度急性期	2,427	9.0	82.2%	80,998	16,178	50,173	14,647	20.0%	61.9%	18.1%
急性期	7,959	12.7	71.8%	164,124	77,230	30,301	56,593	47.1%	18.5%	34.5%
7:1	5,270	11.9	74.0%	119,698	63,133	22,813	33,752	52.7%	19.1%	28.2%
10:1	1,847	16.0	70.6%	30,254	10,106	4,482	15,666	33.4%	14.8%	51.8%
13:1	244	18.1	76.4%	3,684	474	1,753	1,457	12.9%	47.6%	39.5%
15:1	150	21.8	53.7%	1,325	513	251	561	38.7%	18.9%	42.3%
回復期	2,240	29.7	72.1%	19,814	16,920	1,183	1,711	85.4%	6.0%	8.6%
15:1	33	45.8	93.5%	246	151	4	91	61.4%	1.6%	37.0%
地域包括 ケア	1,000	24.3	69.5%	10,111	8,557	629	1,217	84.6%	6.2%	12.0%
回復期リハビ リテーション	989	57.1	75.0%	4,794	4,721	55	18	98.5%	1.1%	0.4%
慢性期	3,276	120.8	78.7%	7,623	6,175	441	1,007	81.0%	5.8%	13.2%

## 4-② 病院の機能別概況（退棟先）

- 高度急性期、急性期の7対1は、院内転棟、家庭復帰の割合が高いが、10対1以降は、施設復帰の割合が高まる傾向であるため、回復期との連携が必要不可欠
- 在宅復帰率（家庭+施設）でみると、急性期77%、回復期86%だが、慢性期は50%以下となり、死亡等の割合が高いことから、在宅医療との連携が必要不可欠

		退棟患者の実数 (H28.7~H29.6)						構成(%)					
		院内転棟	家庭	転院	老健	特養・有料等	終了他	院内転棟	家庭	転院	施設	終了他	
高度急性期	72,322	21,246	45,292	2,755	205	522	2,302	29.4%	62.6%	3.8%	1.0%	3.2%	
急性期	103,852	13,964	75,244	4,997	1,611	3,501	4,535	13.4%	72.5%	4.8%	4.9%	4.4%	
	7:1	79,396	11,063	57,930	4,323	863	2,021	3,196	13.9%	73.0%	5.4%	3.6%	4.0%
	10:1	14,176	2,219	8,668	509	653	1,220	907	15.7%	61.1%	3.6%	13.2%	6.4%
	13:1	1,729	258	998	65	56	130	222	14.9%	57.7%	3.8%	10.8%	12.8%
	15:1	341	62	163	24	0	33	59	18.2%	47.8%	7.0%	9.7%	17.3%
回復期	12,813	867	9,355	446	785	920	440	6.8%	73.0%	3.5%	13.3%	3.4%	
	15:1	246	109	23	16	20	16	62	44.3%	9.3%	6.5%	14.6%	25.2%
	地域包括ケア	6,335	339	4,242	281	531	664	278	5.4%	67.0%	4.4%	18.9%	4.4%
	回復期リハビリテーション	2,474	231	1,738	107	198	174	26	9.3%	70.3%	4.3%	15.0%	1.1%
慢性期	4,789	354	1,605	317	183	361	1,969	7.4%	33.5%	6.6%	11.4%	41.1%	

## 5 有床診療所の機能別概況（平均在院日数・病床利用率・入棟患者・退棟先）

- 病床利用率は約43%と病院と比べ低い
- 平均在院日数も、病院と比較して短い傾向にある
- 退棟先は、急性期、回復期については、家庭が大半を占め、慢性期については、死亡等の割合が比較的高い

	病床数			平均在棟日数	病床利用率	新規入棟患者の実数 (H28.7～H29.6)	
		稼働	非稼働				急変入院
高度急性期・急性期	860	760	100	4.5	43.4%	30,322	2,578
回復期	187	142	45	10.8	48.4%	3,063	226
慢性期	318	293	25	50.7	55.9%	1,288	113
計	1,485	1,195	290	6.8	43.2%	34,673	2,917

	退棟患者の実数 (H28.7～H29.6)						構成(%)			
		転院	家庭	老健	特養・有料等	終了他	転院	家庭	施設	終了他
高度急性期・急性期	20,892	186	20,445	0	65	40	0.9%	97.9%	0.3%	0.2%
回復期	3,059	62	2,674	166	73	84	2.0%	87.4%	7.8%	2.7%
慢性期	710	34	425	5	52	194	4.8%	59.9%	8.0%	27.3%
計	24,661	282	23,544	171	190	318	1.1%	95.5%	1.5%	1.3%

※病床機能未選択の有床診療所は上表からは除外



## 6 救急車の受け入れ状況

- 救急車の受け入れは、救命救急センター等の高度急性期病床を有する病院や、7対1を算定する病院に集中している
- あくまでも、平成29年度病床機能報告上のデータであることに注意

岐阜			西濃			中濃			東濃			飛騨		
医療機関	件数	構成比	医療機関	件数	構成比	医療機関	件数	構成比	医療機関	件数	構成比	医療機関	件数	構成比
岐阜県総合医療センター	5,721	18.6%	大垣市民病院	10,505	62.5%	木沢記念病院	3,526	29.1%	岐阜県立多治見病院	4,661	33.8%	高山赤十字病院	2,901	46.0%
岐阜市民病院	4,826	15.7%	大垣徳洲会病院	2,465	14.7%	中濃厚生病院	3,005	24.8%	中津川市民病院	2,654	19.2%	久美愛厚生病院	1,562	24.8%
松波総合病院	3,813	12.4%	揖斐厚生病院	1,965	11.7%	可児とうのう病院	1,038	8.6%	東濃厚生病院	2,017	14.6%	岐阜県立下呂温泉病院	1,232	19.5%
村上記念病院	2,175	7.1%	西美濃厚生病院	777	4.6%	東可児病院	932	7.7%	土岐市立総合病院	1,419	10.3%	国保飛騨市民病院	367	5.8%
羽島市民病院	2,032	6.6%	博愛会病院	561	3.3%	美濃市立美濃病院	819	6.8%	市立恵那病院	1,396	10.1%	下呂市立金山病院	238	3.8%
岐阜赤十字病院	2,009	6.5%	海津市医師会病院	348	2.1%	郡上市民病院	749	6.2%	多治見市民病院	1,175	8.5%	垣内病院	10	0.1%
東海中央病院	1,668	5.4%	新生病院	75	0.4%	太田病院	543	4.5%	国保坂下病院	282	2.0%			
岐阜大学医学部附属病院	1,393	4.5%	大垣中央病院	64	0.4%	藤掛病院	390	3.2%	国保上矢作病院	185	1.3%			
岐北厚生病院	1,174	3.8%	名和病院	25	0.2%	鷺見病院	370	3.1%	タジミ第一病院	7	0.1%			
笠松病院	880	2.9%			関中央病院	234	1.9%	城山病院	2	0.1%				
安江病院	670	2.2%			国保白鳥病院	205	1.7%							
岐阜中央病院	591	1.9%			白川病院	176	1.5%							
岐阜ハートセンター	500	1.6%			桃井病院	58	0.5%							
近石病院	499	1.6%			八幡病院	37	0.2%							
河村病院	483	1.6%			濃成病院	12	0.1%							
加納渡辺病院	385	1.2%			伊佐治病院	3	0.0%							
平野総合病院	346	1.1%												
長良医療センター	328	1.1%												
山内ホスピタル	304	1.0%												
みどり病院	246	0.8%												
その他	785	2.4%	その他	10	0.1%	その他	13	0.1%	その他	0		その他	1	0.0%
計	30,828	100.0%	計	16,795	100.0%	計	12,110	100.0%	計	13,798	100.0%	計	6,311	100.0%

# 7 具体的な医療の内容 (別添参照)

H29年度病床機能報告 具体的な医療の内容に関する項目  
 ※各機能が担うと考えられる項目ごとに整理した

## 高度急性期 急性期

幅広い手術の実施	手術件数、全身麻酔の手術件数	
	人工心肺を用いた手術	
	胸腔鏡下手術件数、腹腔鏡下手術件数	
がん・脳卒中・心筋梗塞等への治療	悪性腫瘍手術件数	
	病理組織標本作製、術中迅速病理組織標本作製	
	放射線治療件数、化学療法件数	
	がん患者指導管理料	
	抗悪性腫瘍剤局所持続注入、肝動脈塞栓を伴う抗悪性腫瘍剤肝動脈内注入	
	超急性期脳卒中加算、脳血管内手術、経皮的冠動脈形成術	
	入院精神療法、精神科リエゾンチーム加算、認知症ケア加算、精神疾患診療体制加算、精神疾患診断治療初回加算	
	重症患者への対応	ハイリスク分娩管理加算、ハイリスク妊産婦共同管理料
		救急搬送診療料、観血的肺動脈圧測定
		持続緩徐式血液濾過、大動脈バルーンポンピング法、経皮的心肺補助法、補助人工心臓・植込型補助人工心臓
頭蓋内圧持続測定		
血漿交換療法、吸着式血液浄化法、血球成分除去療法		
救急医療の実施	院内トリアージ実施料	
	夜間休日救急搬送医学管理料	
	救急医療管理加算	
	在宅患者緊急入院診療加算	
	救命のための気管内挿管	
	体表面ペースング法／食道ペースング法	
	非開胸的心マッサージ、カウンターショック	
心膜穿刺、食道圧迫止血チューブ挿入法		

## 高度急性期 急性期

## 回復期

## 慢性期

急性期後・在宅復帰への支援	退院支援加算、救急・在宅等支援(療養)病床初期加算／有床診療所一般病床初期加算
	地域連携診療計画加算、退院時共同指導料
	介護支援連携指導料、退院時リハビリテーション指導料、退院前訪問指導料
全身管理	中心静脈注射、呼吸心拍監視、酸素吸入
	観血的動脈圧測定、ドレーン法、胸腔若しくは腹腔洗浄
	人工呼吸、人工腎臓、腹膜灌流
	経管栄養カテーテル交換法
疾患に応じたリハビリテーション／早期からのリハビリテーション	疾患別リハビリテーション料、早期リハビリテーション加算、初期加算、摂食機能療法
	リハビリテーション充実加算、休日リハビリテーション提供体制加算
	入院時訪問指導加算
	平均リハ単位数／1患者1日当たり、1年間の総退院患者数
	1年間の総退院患者数のうち、入棟時の日常生活機能評価が10点以上であった患者数・退棟時の日常生活機能評価が入院時に比較して4点以上改善していた患者数
障害者等の受入	療養病棟入院基本料、褥瘡評価実施加算
	重度褥瘡処置、重傷皮膚潰瘍管理加算
	難病等特別入院診療加算、特殊疾患入院施設管理加算
	超重症児(者)入院診療加算・準超重症児(者)入院診療加算
	強度行動障害入院医療管理加算